

問われる「就業力」

かながわ人づくり

6

夢があるから目標ができる。目標があるから計画ができる。計画があるから実行できる。実行するから成果ができる。成果が出れば自信が持てる。

せるためには中途半端な取り組みではできないはずはない。生徒と一緒に将来を考え、そのための大学進学を目指す。じつと

りを行う面談は、その子の将来を左右するといっても過言ではない。だから、コーチングのスキルを用いて恥ずかしがらずに将来の「夢」を見つけて、そこから始まっていく。

間を提供、その中で生徒たちは学びの体験をした。すこい。人の話を聞いたりする。オリシナルのキャリアデザインは生徒の入塾時期から、生徒と一緒に考えながら書き込めるような作りになっている。

全員が高校3年間に「夢」が見つからなくてもよい。好きなこと、興味のあることを一つでも見いだしてあげたいと思う。そして将来の夢や好きなことに向かって一生懸命努力する高校生を応援し続けたい。

やる気の持続が鍵

中高学院・大学受験指導専業部長 井川 隆成さん

これがCG高等館東進衛星予備校でのキャリア教育プロセスである。教科的な指導を大前提に、いかに「やる気」を出させて持続させるかを重要視している。部活動やアルバイトなど多忙な高校生を本気にさせ、モチベーションを高め、持続さ



キャンパス・visit、大学別説明会などのイベントと、キャリアデザインシートを用いた個別面談である。イベントでは日常味わえない異文化空間を担える人材になりたい

た生徒の一人はこんな夢を抱いて巣立っていった。「将来の夢 宇宙開発。新しい機器の開発研究など日本の宇宙開発を担える人材になりたい」



◆中高学院 1954年創立。県内を中心に142の学習塾・予備校を展開、生徒数1万6500人(小学生・中学生・高校生)。

いがわ・たかなり 1987年中高学院入社、中高学院高校部(現CG高等館東進衛星予備校)返子教室長、上永谷教室長、ブロック長を経て、2001年3月から執行役員・大学受験指導専業部長。